

いわき農林水産ニュース

令和2年8月号（第186号）発行 8月31日

ふくしまからはじめよう。

『食』と『ふるさと』新生運動ニュース



太陽の光をたくさん受けて育った
「サンシャインいわき梨」！
これからは「豊水」が旬です！

目次

- ・【特集】JA福島さくらいわき梨選果場が稼働を再開！……………p.1～
〔各種取組の実績（7～8月分）〕……………p.3～
〔お知らせ・連載記事〕
- ・いわき地方の出荷制限等品目……………p.6
- ・いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果……………p.6
- ・「農業体験バスツアーinいわき川前」参加大学生
募集中！……………p.7
- ・海外から注文していない不審な種子が郵送される
事例への対応……………p.7
- ・野生きのこ等の出荷・摂取制限について……………p.8
- ・磯遊び等における注意事項について……………p.8
- ・GAPコーナー……………p.9
- ・6次化商品紹介……………p.10

特集

JA福島さくらいわき梨選果場が稼働を再開！

8月11日（火）、JA福島さくらいわき梨選果場（p.9
地図参照）の稼働式並びに操業開始式が催されました。

いわき梨選果場は「令和元年東日本台風」に伴う夏井川の
氾濫により、選果ラインの大部分が浸水する等の甚大な被
害を受けましたが、災害復旧事業「強い農業・担い手づくり
総合支援交付金（令和元年8月から9月の前線に伴う大雨
（台風第10号、第13号、第15号及び第17号の暴風
雨を含む。）及び台風第19号等被災産地施設整備等対策）」
を活用し、7月31日に復旧工事が完了しました。

稼働式では、JA福島さくらの管野代表理事組合長が挨拶の中で「関係機関との連携により、選果
場を復旧することができた」と喜びの言葉を述べられました。続いて、来賓として当所長及びいわき
市長（代読 久保克昌副市長）が祝辞を述べられた後、式の最後にはテープカットが行われ、選果場
の復旧を盛大に祝いました。

続いて操業開始式では、今期初の選果・箱詰めが行われました。今後ここで選果された梨は、ブラ
ンド「サンシャインいわき梨」として、国内外へ出荷される予定です。



（選果開始の様子）



（テープカットの様子）



（管野代表理事組合長挨拶）

◆「サンシャインいわき梨」をご堪能ください！

いわき市の梨栽培の歴史は、江戸時代に棚倉藩（現在の平・赤井・小川地区）の藩主が栽培を推奨したのが始まりといわれており、県内でも歴史ある産地の一つです。県内で最も早い時期に出荷される産地であり、日照時間が長く、みずみずしく甘い果実に仕上がるため、「サンシャインいわき梨」として市場に出荷されています。



「豊水」

「幸水」は8月いっぱいまでですが、9月からは「豊水」、福島県オリジナル品種の「涼豊（りょうほう）」、10月からは「新高（にいたか）」と出荷が続きます。

「幸水」は甘みが強くみずみずしさが特徴です。「幸水」の日持ちは常温で1週間程度と他の品種と比べて短いので、購入したら早めに食べることをおすすめします。

「豊水」は甘みと酸味を両方兼ね備えてジューシーな味わいを楽しむことができ、「涼豊」は福島県のオリジナル品種で大玉で甘みが強いのが特徴です。また「新高」は芳醇な香りと歯ごたえが特徴です。

この4品種を食べ比べてみて、皆様の好みの梨を見つけてみてはいかがでしょうか。「幸水」「豊水」「新高」の3品種は今年もベトナムへ輸出される予定で、8月24日（月）には、JA 福島さくらいわき梨選果場で「ベトナム向け輸出梨出発式」が行われました。

いわきだけでなく、世界にもはばたく「サンシャインいわき梨」を是非ご堪能ください。
(農業振興普及部)



「幸水」



「涼豊」

◆地元いわきで梨のPRを実施しました！

第2回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン 8月29日（土）

マルト SC 中岡店において、旬を迎えた「いわき産の梨」の魅力や認証 GAP（農業生産工程管理）を消費者に紹介するイベントを実施しました。

認証 GAP の理解促進などを目的に、新型コロナウイルス感染症の対策を行った上でアンケート調査を実施し、お答えいただいた方には、JA 福島さくらいわき梨部会 GAP 研究会で生産された FGAP 認証の「いわき産梨」と NPO 法人 みどりの杜福祉会「未来工房」で加工されたいわき産農産物を使用したジャム（キウイフルーツ・ルバーブ）をプレゼントしました。アンケートに御協力いただいた皆様からは、「美味しそう」や「家に帰って早く食べたい」といった声が多く聞かれました。さらに、マルト様の御協力の下、GAP 認証農産物を集めた棚を設置していただき、GAP に興味を持たれ購入していくお客様もたくさんいました。

当所では、引き続き関係機関と連携し、いわき産農産物及び GAP の PR に取り組んでまいります。
(企画部)



(アンケートの様子)



(GAP 認証農産物を集めた棚)



いわき森林土木協会優良森林土木工事表彰

〔8月4日(火)〕

いわき建設会館において、いわき森林土木協会による優良森林土木工事表彰が行われ、当所が発注した森林土木工事で、令和元年度に施工した工事における優良工事及び監督員が表彰を受けました。受賞者は以下のとおりです。(敬称略) (森林林業部)

□いわき森林土木協会優良森林土木工事受賞者

会社名	工事名	地区・路線名	工事概要
堀江工業株式会社	森林居住環境(県・農)3001工事	永井川前線	林道開設
株式会社山一緑化土木	治山施設(県営)0101工事	脇ノ作地区	法面処理

□優良工事監督者受賞者

氏名	会社名	工事名	地区・路線名
安齋直也	堀江工業株式会社	森林居住環境(県・農)3001工事	永井川前線
石井政宅	株式会社山一緑化土木	治山施設(県営)0101工事	脇ノ作地区



(表彰の様子)

農林水産部長が現地調査を実施

〔8月19日(水)〕

県農林水産部の松崎部長が、8月18日～19日にかけて、相双管内及びいわき管内の現地調査を実施しました。

当所管内は19日(水)午後から炎天下の中、小川町上小川から四倉町玉山にかけての営農団地を東西に結ぶ「広域農道(いわき地区)」(全長9,944m)について、加路川(かろがわ)に架かる加路川大橋(橋長173m)や農道が県道小野四倉線に接続する始点部の工事の進捗状況などを視察しました。



〔広域農道「いわき地区」
加路川大橋工事現場〕



(小川町関場地区)

続いて、昨年10月の令和元年東日本台風の被災地で、夏井川堤防の決壊により大きな被害を受けた小川町関場地区の水田を視察し、最後にトマトの養液栽培を行っている「あかい菜園株式会社」(p.9 地図参照)を訪問しました。あかい菜園では船生代表取締役から、令和元年東日本台風で冠水した施設の被害状況や、その後の復旧・生産再開に向けた取組について説明を受けたあと、大玉トマトやミニトマトの生産・出荷の状況を確認しました。



(あかい菜園株式会社)

当所では引き続き関係機関と連携して、被災した農業者等の営農再開に向けて取り組んでまいります。(いわき農林事務所)

「親子ブルーベリー教室」で食育活動を実施〔8月22日(土)〕

大和田自然農園(p.9 地図参照)において、いわき市農業生産振興協議会主催の「親子ブルーベリー教室」が開催され、「ふくしま食育実践サポーター」の荻野智代さんによる食育活動が小学生親子 10組 23名を対象に実施されました。

初めに、荻野さんによる2種類のブルーベリースムージー作りのデモンストレーションが行われ、完成したスムージーは参加者にふるまわれました。その後、いわき産の野菜や果物に関する〇×クイズや講話が行われ、児童たちは自然の中で楽しく学んでいました。

県では、学校や地域団体等が実施する子ども等を対象とした食育活動を支援する「ふくしま食育実践サポーター」を派遣する事業を行っております。是非ご活用ください。(企画部)



スムージーの作り方を説明する荻野さん

イノシシ被害防止のワイヤーメッシュ柵を試験設置〔7月19日(日)〕

遠野町上根本白坂地区において、当集落生産者及びワイヤーメッシュ柵の設置を検討している若手農家を対象に、ワイヤーメッシュ柵の設置方法について指導を行い、その後実際に柵を設置しました。

現在イノシシ侵入防止の主な対策となっている電気柵は、設置した後草刈り等の管理に手がかかるという欠点があります。そのため、維持管理の省力化が期待できるワイヤーメッシュ柵と電気柵を比較する目的で実施したものです。今後は、ワイヤーメッシュ柵の導入により、電気柵と比較してどの程度維持管理に要する作業負担が軽減出来るのかを調査する予定です。(農業振興普及部)



(ワイヤーメッシュ柵設置指導の様子)



(設置したワイヤーメッシュ柵)

ふれあい農園栽培指導会

〔7月19日(日)〕

夏井地区において、「いわき農業青年クラブ連絡協議会」主催の「ふれあい農園栽培指導会」が開催されました。「ふれあい農園」は地域の皆様にほ場を開放し、自らの手で農作業体験を行ってもらうことで農業への興味関心・農園利用者同士の繋がりを深めてもらう活動で、開園式・栽培指導会・収穫祭と年3回の催し物が企画されています。新型コロナウイルス感染症対策で3密を防ぎ、さらに熱中症にも注意しながらも賑やかな雰囲気の中、青年クラブ員は農園利用者に野菜の生育状況や秋冬野菜の栽培方法等の指導を行っていました。

「ふれあい農園」の利用者を随時募集しています。関心のある方は、農業振興普及部(TEL 0246-24-6161)までご連絡ください。(農業振興普及部)



(栽培指導会の様子)



ホッキまつり

〔7月25・26日(土・日)〕

道の駅よつくら港(p.9 地図参照)にて「よかつぺ市感謝祭」と併せて、いわき市漁協四倉ホッキ組合主催の「ホッキまつり」が開催されました。当日は、ホッキガイの無料試食とお手頃価格による販売(数量限定)に加えて、むき方が分からない人のために、地元漁師によるホッキガイのむき方講習が行われました。同講習では、ホッキガイの豆知識も紹介され、生産者と消費者の交流を深める貴重な機会となったこともあり、両日ともに大盛況でした。8月以降も来年1月まで月1回の頻度で開催予定ですので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。(水産事務所)



(ホッキガイ試食提供の様子)



(ホッキガイむき方講習の様子)

「先山ゼロ災推進安全巡回指導」を実施

〔7月29日(水)〕

林業労働災害ゼロを目指して、関係機関の連携により毎月1回実施している「先山ゼロ災推進安全巡回指導」が田人町ほかで実施されました。

今回は、刈払機を使用した下刈作業の現場において、作業者間の必要距離(15m以上)や刈刃の操作範囲(腰の高さ以下)について、安全衛生指導員によるアドバイスが行われた後、参加者同士の意見交換により知識と技術の向上が図られました。

夏場の森林内は湿度が高く熱中症対策が求められますが、近年は送風ファン付きのジャンパーが活用されるようになり、作業環境が改善されつつあります。

現場作業に従事される皆様には、引き続き基本動作の励行をよろしくお願いいたします。

(森林林業部)



(「巡回指導」の様子)

トピック1

小川町・四倉町でリンドウが初出荷

リンドウは多年生の花きであり、一度定植すると栽培2年目からおよそ4~5年間切り花を収穫できる品目です。青紫色が鮮やかに映える夏を代表とするお盆の花として、東北地方を中心に栽培されています。

いわき地域では川前町等の中山間地域でリンドウが栽培されていましたが、令和元年度からは、小川町、四倉町でも新たに栽培が開始され、栽培2年目の今夏、待望の初出荷を迎えました。

ほ場では、花卉の青紫色と葉の緑色が美しいコントラストを見せています。

いわき地域産のリンドウは市内の直売所や花屋等で購入できますので、ぜひご購入ください。(農業振興普及部)



(四倉町のリンドウ)



(小川町のリンドウ)



お知らせ

いわき地方の出荷制限等品目

令和2年7月末日現在、いわき地方の農林畜水産物のうち、出荷が制限等されている品目は(表)のとおりです。

(表) 農林畜水産物の出荷制限等品目(令和2年7月末日現在)

出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により基準値(100Bq/kg)以下であっても出荷・販売はできませんのでご注意ください。(企画部)

制限、自粛	区 分	品 目
出荷制限	山 菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ(野生のものに限る)、わらび(野生のものに限る)*、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ(露地)、野生きのこ
出荷自粛	山 菜	さんしょう(野生のものに限る)

※わらび(栽培)は該当生産者15名のほ場に限り出荷制限が解除されました。

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果(令和2年7月分)

□ 農林畜産物の検査結果

令和2年7月の農林畜産物モニタリング検査では、検査した9品目 19 検体すべてにおいて放射性セシウムが基準値(100Bq/kg)を超えたものはありませんでした。内訳は(表)のとおりです。(企画部)

(表) 放射性セシウムが基準値以下の品目と検体数

菌床しいたけ(施設) 8、菌床なめこ(施設) 1、カボチャ1、葉ネギ(施設) 1、ピーマン1、ナス1、小麦1、牛肉4、原乳1
--

□ 海産魚介類の検査結果

令和2年7月の水産物モニタリング検査では、98 検体の魚介類を検査し、放射性セシウムが基準値(100Bq/kg)を超えたものはありませんでした。(水産事務所)



サンマ漁船出航

〔8月17日(月)〕

サンマ棒受網漁船(100トン以上)6隻が小名浜港からサンマ漁の前線基地となる釧路港に向けて出港しました。

震災以降、本県のサンマ漁を盛り上げるために、同時間帯での一斉出港を行っていましたが、今年は見送る家族や関係者らの密を避けるために、船ごとに時間をずらしての出港としました。出港したサンマ漁船は大漁旗で飾られ、岸壁と漁船を結んだ色とりどりの紙テープをなびかせながら、家族らが盛大に見送りました。

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所の8~12月の道東(北海道東沖)~常磐海域におけるサンマの長期漁海況予報によると、来遊量は過去最低の漁獲量を記録した昨年を下回るとのことで、厳しい漁が見込まれていますが、サンマ漁船の船員は「なんとかみなさんに美味しいサンマを届けられるように頑張りたい」と話していました。



(出港するサンマ漁船)

出港した6隻は、8月20日から北海道東沖で操業を開始しています。

(水産事務所)

「農業体験バスツアーinいわき川前」 参加大学生募集中！

県内の大学生を対象に、いわき市川前地区を舞台とした1泊2日の農業体験バスツアーを実施します！

- 日 時：令和2年10月10日(土)～11日(日)
- 対 象：県内の大学生(短期大学・高等専門学校(4年生以上)を含む)
- 料 金：3,000円
- 定 員：20名
- 内 容：農業体験、BBQ交流会、郷土料理教室、星空鑑賞会、ワークショップなど
- 主 催：福島県いわき農林事務所
- 募集期限：令和2年9月18日(金)18:00
- お問合せ：株式会社いわき市民コミュニティ放送
TEL：0246-25-0763



詳細については、以下のURLよりご覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/r2-bt-boshu.html>

また、応募については、以下のURLよりお申し込みください。

http://contact-fm-iwaki.com/bus_tour_kawamae

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底して実施します。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況次第では、オンライン等を利用した内容に変更になる場合があります。(企画部)

海外から注文していない不審な種子が郵送される事例への対応

テレビ等で報道されているように、海外から身に覚えのない不審な種子が郵送される事例が全国で発生しており、7月以降、当所にも同様の情報が寄せられております。

農林水産省では、植物防疫所ホームページに「海外から注文していない植物が郵送された場合は、植物防疫所にご相談ください」との案内を掲示し、広く注意喚起しています。

＜写真のような郵便物が自宅等に配達された際の対応＞

- 1 外装が未開封の場合：配達時(後)に受け取りを拒否
- 2 外装を開封した場合：植物防疫所に相談



海外からの病害虫の侵入及びまん延を確実に防止するため、庭やプランターなどに植えたり、ゴミとして捨てたりしないよう、農家の皆様はもとより、県民の皆様のご協力をお願いいたします。

◆海外からの植物郵送の問い合わせ先 【横浜植物防疫所 業務部種苗担当 TEL 045-211-7153】

農林水産省 植物防疫所ホームページ URL

<https://www.maff.go.jp/pps/j/information/200730.html>

◆郵送物の受け取り拒否

日本郵便ホームページ URL

<https://www.post.japanpost.jp/question/121.html>

(農業振興普及部)



野生きのこの出荷・摂取制限について

野生きのこが多く発生する時期を迎えますが、現在のいわき市においては、「野生きのこ」の全種と「原木なめこ（露地）」が出荷制限の対象、また「野生きのこ」については摂取制限の対象にもなっておりますので、次の点に留意して下さるようお願いいたします。

1 出荷制限について

対象の品目は、地域全体としての安全性が確認されていないことから、出荷制限は今シーズンも継続しています。そのため、

- 団体等や個人においての自主検査により「基準値(100Bq/kg)以下」であっても出荷や販売等はできません。**
- 無償で譲渡することや、インターネット（フリマアプリ等）による個人売買も出荷に該当するためできません。**
- 出荷・販売だけでなく、飲食店や宿泊施設等での提供や加工用原材料としても使用できません。**

いわき市産きのこの出荷制限等品目

出荷、摂取	品 目
出荷制限	野生きのこ、原木なめこ（露地）
摂取制限	野生きのこ

※市町村毎に出荷制限品目等が定められていますので、詳細は県のHP (<http://www.new-fukushima.jp>) でご確認ください。

2 摂取制限について

自家用の食材とすることも控えて下さるようお願いいたします。

3 栽培きのこについて

「原木なめこ（露地）」以外の栽培きのこは、栽培前に生産資材（きのこ原木・ほだ木、菌床等）の安全性の確認を県の検査機関において実施します。国が定める当面の指標値（きのこ原木・ほだ木50Bq/kg、菌床200Bq/kg）以下で安全性が確認できた生産資材のみ、販売目的のきのこ栽培に使用することができます。

また、発生したきのこは、出荷・販売前に県によるモニタリング検査を受ける必要がありますので、きのこ栽培の開始・再開を検討されている場合は森林林業部（TEL 0246-24-6193）までお問い合わせください。

（森林林業部）

磯遊び等における注意事項について

連日、暑い日が続いておりますが、磯遊び等の海でのレジャーをお楽しみいただく方に守っていただきたいルールがあります。

福島県沿岸のほぼ全域に漁業権が設定されており、アワビ・ウニ等の漁業権対象種を採捕すると漁業権侵害となる恐れがあります。また、福島県漁業調整規則では、水産動植物の採捕について下表の制限等を定めています。

ルールを守って、海でのレジャーを楽しんでください。

（表）福島県漁業調整規則における制限等

遊漁者が行うことのできる漁具漁法	竿（さお）釣り及び手釣り、たも網及び叉手（さで）網、船を使用しない投網、やす、爬具（はぐ）、歩行徒手による採捕
体長等の制限（採捕してはならない大きさ）	ホッキ：殻長 7.5cm 以下 アサリ：殻長 2.5cm 以下 等

詳しくは、水産事務所（TEL 0246-24-6175）までお問い合わせください。

（水産事務所）

GAP コーナー

GAP (Good Agricultural Practice) : 「農業生産工程管理」

いわき地方第1回GAP推進協議会を開催

7月17日(金)

県いわき合同庁舎において「令和2年度第1回いわき地方GAP推進協議会」を開催しました。

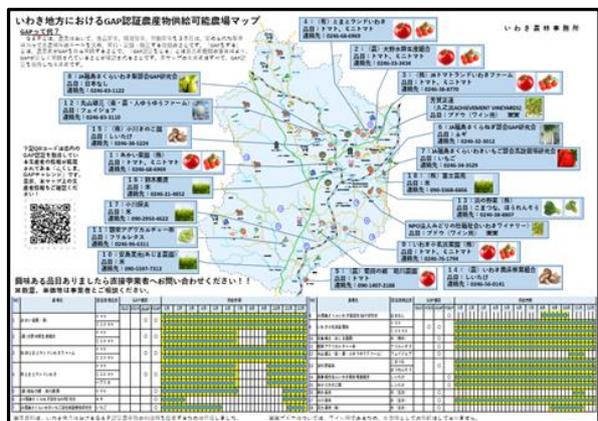
会議は、構成員である流通事業者・JA 福島さくらいわき地区本部・いわき市出席のもと、管内におけるGAP認証取得状況を確認し、認証農産物の利活用促進・PR活動などの計画について協議しました。

流通事業者からは、「認証農産物の販売促進のためには、認証農産物の増加、流通事業者・消費者の認知度向上が必要であり、GAPのPRイベント等は積極的に参画したい」との意見が出されました。

農業振興普及部では、継続的に認証取得(新規取得・維持)支援、流通関係者向けの研修会や消費者向けの認証農場見学ツアーを行うとともに、本年度から新たにGAP農産物供給マップを作成し実需者等に配布することで、更なる認証農産物の消費拡大を図っていきます。(農業振興普及部)



(協議会の様子)



GAP 農産物供給マップ
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/gapnousannbutu.html>

今月号に掲載した場所はここです!

- ① JA 福島さくらいわき梨選果場 (p.1)
小川町西小川下蕪田 16
- ② マルト SC 中岡店 (p.2)
中岡町 6-1-8
- ③ あかい菜園株式会社 (p.3)
平赤井字一の町 55-1
- ④ 大和田自然農園 (p.4)
好間町北好間字桜下 30
- ⑤ 道の駅よつくら港 (p.5)
四倉町五丁目 218-1
- ⑥ パティスリー アンジェリーク 平店 (p.10)
平白銀町 5-10



こだわりと美味しさがつまった いわき自慢の6次化商品をご紹介します！

いわきの大人気洋菓子店「パティスリー アンジェリーク」では添加物を極力使わず、安心・安全を心掛けて洋菓子作りをしています。

新商品の「米粉ドーナツ」は、いわき産コシヒカリ「Iwaki Laiki」の米粉を100%使用しており、からだに優しいグルテンフリー（小麦粉不使用）の商品です。米粉のもちもちとした食感を引き立たせるため、材料にホイップを加えたり、型の種類を工夫したりするなど、店主のこだわりが存分につまっています。

プレーン、ブルーベリー、抹茶、コーヒー、紫芋の5つの種類があり、それぞれの素材の味わいを楽しむことができます。また、大きさも手頃なため、おやつにもぴったりです。

パティスリー アンジェリーク平店・鹿島店のほか、浜の駅 おなりん、マルト ニュータウン店・玉川店・SO中岡店・東田店で買い求めいただけます。

いわき産米の米粉を使用したこだわりの味を是非ご賞味ください！



米粉ドーナツ(5個入り)
価格:756円(税込)



内容:手前左から、プレーン
抹茶、ブルーベリー
奥左からコーヒー、紫芋

お問い合わせ

パティスリー
アンジェリーク



平店外観

【平店】

いわき市平字白銀町5-10
TEL.0246-24-7014
定休日:月曜日・第3火曜日

【鹿島店】

いわき市鹿島町久保3-2-1
プリズビル1F
TEL.0246-58-6133
定休日:火曜日・第3月曜日

所在地は p.9 のマップを参照

編集後記

毎日暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。さて、22日に実施された「親子ブルーベリー教室」(p.4 参照)に私も取材で伺ってきました。子供たちは夢中になってブルーベリーを摘み取り、スムージーや石窯で焼いたブルーベリーピザを味わい、楽しいひとときを過ごしていました。

ブルーベリーや特集で紹介した梨は今が旬なので、皆様も是非いわき産の旬の果物を味わってみてください！

(企画部 K)



◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。
福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)
TEL (0246)24-6152 FAX (0246)24-6196
URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース